



中信大会

いざたて ふるえ吾が友よ

6月は、中体連中信大会が行われました。壮行会では全校生徒が、応援団を中心に、大きな声で熱いエールを送り、選手たちを激励しました。校内には、たくさんの応援メッセージが貼られ、学校中が熱気に溢れました。吹奏楽部の演奏とともに堂々と入場した選手たちは、ステージに立ち、大会に向けた決意や感謝の気持ちを発表しました。熱い応援を受けた選手たちは、勝利のために、最後の瞬間まであきらめずに、全力で闘いました。



学校長より激励の言葉

男子バスケットボール部、女子バレーボール部、軟式野球部のみなさん、バスケットボール女子で出場する皆さん。いよいよ勝負の時が来ました。

只今は、選手の皆さんの、大会へのぞむ強い覚悟にふれさせていただきました。特に3年生の皆さんは、人生の中でも思い出に残るであろう一つの節目を迎えます。

今日は私が尊敬する人物、将棋の羽生善治さんの言葉を紹介し、激励の言葉にしたいと思います。

「高跳びで1メートル50センチを跳べる人は、1メートルでは簡単すぎて重圧を感じません。2メートルも不可能なので重圧は感じません。「あと少し」という1メートル60センチに挑む時に重圧を感じるもので、重圧とは何かしらの手ごたえを感じている時に抱くものです。重圧を感じている時も悪い状態ではない。重圧を感じるのはいいところまで来ている証拠なのです。」

明日、または来週、それぞれのスタートラインに立ったとき、重圧、プレッシャー、緊張と置き換えてもいいかもしれません。そんな思いを感じたら、それはいいところまで来ている証拠です。その重圧を自信と捉えて下さい。そして、皆さんを支えてくれている家族、部の仲間達、クラスの友達、顧問の先生方などの人たちの顔を、言葉を思い出し、目標達成を目指して頑張ってください。

最後に、大切な壮行会をしっかりと計画・運営してくれた体育委員会の皆さん、素敵な演奏で盛り上げてくれた吹奏楽部の皆さん、そして、これまで応援練習を重ね、素晴らしい応援をして良い会を創り上げてくださった皆さん全てに感謝いたします。

では選手の皆さん、聖南中全校生徒・職員一同、皆さんのご健闘を祈っています。がんばってください。

中体連中信大会



中信大会結果

- ・男子バスケットボール部・・・対開成（26－93） 対高綱（22－68）
- ・女子バレーボール部・・・対筑摩野（0－2） 対塩尻（0－2） 対附属松本（2－0勝ち） 対旭町（0－2）
- ・野球部（清水、女鳥羽、山辺、会田、聖南）1回戦 8－0（コールド勝ち） 2回戦 2－1 0

中信大会では、どの部活も聖南中の生徒らしく、全力でさわやかなプレーをみせてくれました。最後まであきらめずに闘いぬいた3年生は、悔しい涙とともに、仲間と励まし合って頑張ってきた2年半を振り返ったことと思います。この大会で部活動を終えた3年生は、今まで努力してきたことに誇りを持ち、部活動に打ち込んできたエネルギーを自分の進路実現に生かしてほしいと思います。1, 2年生は、3年生の思いを引き継ぎ、目標をもって部活動に励んでほしいです。

保護者の皆様もたくさんの思いをもって、応援されていたことと思います。練習試合や大会の送迎、お弁当づくりなど、子どもたちの部活動を支えていただき、ありがとうございました。

あずまやタイム

～筑北村の魅力を探求～

筑北村の良さや魅力を探求し、ふるさとを愛する心を育てる「あずまやタイム」では、学年を越えた縦割りのグループで、課題や問いを見だし、その解決を目指して地域とつながりながら、追究を進めています。

太鼓・篠笛グループでは、地域の四阿こだま太鼓チームの方より、筑北村の伝統芸能について教えて頂いています。郷土食グループでは、ジビエ肉解体加工業の方より、ジビエ肉が食卓に並ぶまでの過程を学び、今後、調理に挑戦する予定です。善光寺ウォークイベントグループでは、観光課の方と、イベントの打ち合わせを行い、生徒がアイデアを提案しました。農業グループでは、スペルト小麦の育て方や加工する過程について教えて頂き、新たな気づきがあったようです。たくさんの人と出会うことで、子どもたちの探究は深まっているようです。

